婦人新報

七月號

第貳百七拾五號目次

□報告

□都會の裏　宮川靜枝

□北陸轉戰の旅　林歌

□萬國大會の一般

□英國エヂンバラ市より　ガントレット恒

□矯風會は輕躁の產物に非ず　錦織くら

□婦人を守護する權利　守屋東

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□矯風會販賣圖書目錄□□

□バドラ夫人傳	矢島楫著	(50)錢
□性慾と健康	小松武治著	(60)
□父	久布白落實著	(200)
□小草	金澤氏著	(100)
□基督教新建設	久布白直勝著	(150)
□イスラエル物語	大橋房子著	(200)
□葡萄の花	大橋房子著	(200
□傳道用小冊子	各種	
□禁酒演説集	二部宛	
□禁酒軍歌	一冊	

□御注文次第お送り致します

婦人矯風會本部
赤坂、新町三ノ四六

社告

□婦人新報定價（郵税共）

一年分（前金）金壹圓八十錢也
半年分（前金）金九拾錢也
一ヶ月分（前金）金拾五錢也
（郵券代用一割増）

□廣告料

一行（五號活字）金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九

編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正九年七月十九日印刷
大正九年七月二十日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 守屋東
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地 婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷株式會社

No. 275　　　　July, 1920

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. The Demand for Women's Protection...Miss Moriya
2. The Origin of W.C.T.U. ....Mrs. Nishigori
3. From Edinburgh ....Mrs. Gauntlet
4. The World's Convention in London ...
5. Trips through Hokuriku......... ....Miss Hayashi
6. The Dark Side of the City Life.........Miss Miyagwa
7. Reports

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,

Tokyo, Japan

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人を守護する權利

守屋東

東京部會の仕事として、三年前東京婦人ホームを開設して、婦人の身の上相談職業の世話、女中の周旋、其爲の學校、特に東京府廳の依托を受けて不良少女の一時保護を開始しまして以來、實に苦しい思を默して、先三年の實驗を得ました其成績及統計については別に一本として報告致しますが今茲に學び得た點を二三擧げて諸姉の御參考に供したいと思ひます。

抑も此婦人ホームの事を大膽に實行するに至つたのには、大なる原因があつたのです、即ち婦人の立端が何等の權利を持つて居ない爲に、全く意思に反した行動を周圍から作りあげられてしまふ、といふのがそれでした。

不注意不用意に取り行はれて居る娘の結婚、娘の身賣、女工の賣買、女中の周旋といふ如き問題が、流れて行く間に婦人を中心とした罪惡が構成され、社會を亂す惡風俗が出來、子女を安じんて此社會に働かすことを躊躇するやうになつて來るのです、是等の實際問題に遭遇して、慘な婦人の味方となり、助け手とならうとするとき、口惜しき迄に婦人を保護する權利のないことに驚くものであります、是等の事實を其結果から見せられ教へられて來ました、身の上相談にはいつも自分の事のやうに泣かされます、心を裂かれる思がします、中には自分の經て來た過去の罪に打ちなやみ死をさへ求めて苦しむやうな人々もありますが、その事實さへ社會が惡事を、しなければならないやうにしてゐる事が多いのです、是れにまして最も痛切に思ふ問題は、未亡人に對する處置です、未亡人の結婚再婚の問題はしばらく別として、其殘された子女を教育する爲に全心全力をなげだして起つ、教養あり、修養ある婦人が、其子女を充分に信ずるまゝに教育することさへ出來ないやうにされて居る問題です、而も良妻賢母であれを教育した婦人は特種の婦人を別として、一般の未亡人は實に言ひ難き悲痛と、不條理な社會の組織に血涙を飲んで居

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのです、此問題について相談を受けるとき、私は泣かずには居られないのです、救ふべき途を講じたいと思ふても、そこに婦人を守護すべき權利を見出し得ないのです、此種の泣は母の思となつて遂に家庭の爲に、國の爲に婦人に參政權を確得する迄戰はなければならぬといふ決心を持たしめます、私は參政權を得たいといふことを理論からでなく、現在の社會が生むあらゆる不條理な現實から敎へられました、而も理論としては人としての女子に、男子と同等なる權利を附與することは適當のことであるといふに至つては何等そこに議論の餘地はないのでございませう。

子供本位であるはず

第二は一口に不良と呼ばれる少女達に社會の同情が足らない、といふ事です、私は不良少女といふ種類に入るべき少女に多數會つて居ます、それ等の少女と話して見ます、一緒に食べても見ます、また時には一つ家に寢ます、そして不良といふ點が其子供眞實の所有品でなく、全く無理矢理に持たせられた品物だといふ事を見付け出す事です、周圍の事々物々は持ちにくい、重いむごたらしい荷を、弱い發育しきらない軟かな子供の心にも身にも負はせてしまつてゐます、そして動け、働け、眞直に歩めと後に巡つて大人は虐げて居ます、その中を拔ける子供が何人不良にならずに行けませう、不良になるのが當然で、ならないのが違つてゐると思ひます、中には病的なのもありますが其病的といふ事さへ父母の遺傳によるのが多いのです、人の本性は善でありませうが、善の芽が一寸も伸びない先に善でない環境に打ち込まれるのですもの、論はありますまいと思ひます。

此點について私は此社會がまた家庭が何よりも次代を作るべき子供本位でなければならない事を確信させられまして、禁酒運動でも、公娼全廢でも、また平塚明子女史等によつて唱導されて居る花柳病と結婚といふやうな事にも、當然此立場から私は運動を開始して行くもの丶一人です、西洋婦人矯風會東京支部の新計畫として本所區松倉町に、興望館といふ建物を建て丶其區域の改善の機

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

關に當てやうとして居られる事は、實に積極的な兒童保護事業として見るべきものだと思ひます。

社會事業に奉仕する人

過去三年間の經驗上、其ういふ事業に身を打ち込んで働きたいといふ人のない事です、切角あれば仕事は多い身を害する迄働かなければ事務があがらぬといふみじめさを味ふて居ます、實に薄氷を踏むやうな思です、社會は一刻〳〵長足の進歩をして居るとき、少しも進まないのは社會事業に働く婦人の少ないことです、其原因は種々ありませうが、今日の女學校教育が只狹い意味の良妻賢母主義であることが其一つでせう幾十萬の女工の爲工場法が改良されまた婦人の工場監督官を置くやうになつても婦人自身が醒めなければ其人を見出す事が出來ません、むなしく昔日の如く男子に一任した社會事業といふものになつてしまふのではないかと思ひます、私は此點について女學校長が特に意を用ゐられて社會に奉仕する婦人を作り出すやうに務めて頂きたいと思ひます。

女を識るのは女です女を導き教へるのは或場合にありては男にある時があることも信じますが然し微細な心情に分け入り其友となつて慰め、勞はり、啓發するものは同じ性であると思ひます、此意味から婦人が起たなければならない社會事業が多々あります、淪落婦人救濟不良女兒の教化、不遇婦人の話相手等消極的の方面から初まり積極的な婦人啓發の運動婦人保護の事業まで皆教育あり信仰ある婦人を待ち望んで居ります。

起て女學生諸君

全國幾百の女學校に學ぶ女學生諸君、起つて身を社會事業に献げて下さる方はありませんか。

權利を得る前には責任があります、義務のともなはぬ權利は何等の意味を成しません婦人の權利問題が實際問題から解決されて行く日が近づいて居ます。

先づ與へて見よ

先日或會合で桑田博士の隣席につきました、博士は過日開かれた社會事業大會の時、婦人丈の集合の時各自の働きについて報告された中に一人も工場について興味を持つ人がなかつたと話されました、私も同意見であることを述べまして、また婦人の社會事業に興味を有する人の少ない事を嘆じ此日の話題になつてゐました、兒童保護事業の有憐園の松田氏は兒童遊園の爲に熱心に市會議員をまた名士を說いても、少しも共鳴してくれぬと嘆じられました、私は若し市會議員に婦人をして下さつたら必ず兒童の遊園地については早

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

速く賛成しますと云ひました、談は進んで婦人參政權まで行きました、然し參政權は先づ預りとして學務委員は婦人を選ぶ可きであると博士は力說され思はぬ興味ある食卓になりました、女教員を持ち、女工幾十萬を有し、兒童の母として婦人がある上は婦人に當然の權利は與へらる可きものであると思ます、未だ與へた經驗がない爲に恐れるのでせうから、先手近から與へて見る事が最もよき途であると思ひます、今は斷行すべき時でせう。

矯風會は輕躁の產物に非ず

與謝野晶子女史に與ふ

大阪支部　錦織くら子

敬愛する與謝野晶子女史

　私は、大阪每日新聞所載『自己に生きる婦人』を讀んで、敢て本稿を草して、貴姉の理解と反省とを促す次第であります。

　思想界に此人ありと聞えたる貴姉に、敢て本稿を呈する事は、聊か蟷螂龍車に向ふの感無き能はずです、併し、眞理は、いゝマカダ國王の王子に依て唱道さるるも、ガラリヤの一寒村ナザレの大工の息子に依て唱道さるるも、眞理といふ點に於ては動かす可からざると同樣、我國閨秀思想家の權威を以て目さるる貴姉に依て唱道さるるも、一案寒貧教役者の細君に依て唱道さるるも、等しく眞理は眞理なるが故に、敢へて本稿を机下に呈するの痴愚に出でた次第であります、殊に、貴姉の如き、日本婦人の思想を指導すべき位置に置かれて居る女流思想家が、斯かる事を書かるるに於ては、兎角盲昧なる婦女の輕躁なる誤謬的斷定を招く恐れあるが故に、其誤謬訂正の爲めにも敢て禿筆を弄する事の空しからざるを信ずるものであります。

　私は之を書く前に、一言御斷りいたします、私が今書かふとする事は『自己に生きる婦人』の全部を一貫した思想に就ての批判ではありません、貴婦が、日本の婦人團體は全部輕躁雷同の產物であると潜越なる斷

定を下してゐる中に、特に婦人矯風會を其第一位に置いて然も特別に矯風會を擧げて攻擊しつゝある其箇所に就て、私は矯風會の一員として默過するに忍びず、玆に其所信を披瀝して御一考に資せんとする者である事を御含み置き願ひ度い。

貴姉は『婦人矯風會の人達は、私達を、明かに人格的に差別してゐます』と言つてゐられるが、私達は貴姉の言はれる樣に基督敎徒に非ざるが故にの理由を以て、眞向から異端であり、罪人であり、人格の劣等なるものとして、差別を以て排他的の毛嫌ひは致して居りません、矯風會員であるが故に眞の人間であり、矯風會員ならざるが故に人間としての貫目がそがれた者として指彈するが如き愚は決していたして居りません、其證據には、矯風會は基督信者に非ずとも、主義に贊して其目的に誓約出來得る者は、會員として入會する事を許可されて居ります、勿論神の爲め、國の爲め、家庭のための三件を標傍して居ります、貴姉は『何々の爲め』といふ樣な、他律的專制的の道德で、個性の自由な批判を許されないものを可認してゐるけれど、何々の爲めと云ふ事は、どれだけ個性を裏切り、傷け、違背するものでありませうか、個性の自由批判は、時に錯誤を招く恐れがあります、が却つて正しき標準に從ふ事は、よこしまならんとする自己を矯正する所以であると思ひます、貴姉は又『彼等は私達の同胞の或者を醜業婦として非人間的に蔑視して居るのです、彼等は人類の中に迷信の有無を以て尊卑の階級を立てる事に忍び得るのです、彼等の口にする愛なるものゝ、如何に排他的であるかに就て、私は多年呆れてゐます』と、私達が基督教主義に立脚して、徒らに愛を口にする其愛が、非常に排他的であると貴姉は言はれるけれど、己れをのみ聖き者として罪を憎むの余り、人をも蔑視する事は、單に矯風會員のみに非ずとも一般基督敎信者の良くせざる所であります、キリストは自身聖きが爲に、遊女や稅吏を輕んじ給はなかつたのです、却つて罪人の友となり之を指導し聖化する事に全力を捧げ給ひました、私達も基督敎に立脚してゐる以上、此精

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

神は私達の精神となつて居ります、醜業其者は大に蔑視し、人間のなすべき事では無い獸的行爲として、飽く迄も退けなければなりません、併し人間其者を、私達は決して蔑視しては居りません、貴姉の言はるゝ如く、等しく同胞です、憐れむ可き人達です、かるが故に、私達は彼等及び、彼等あるが爲に、風紀を亂さんとする人達を救はんが爲に、且つは社會のため國家のため、公娼廢止を叫び、海外醜業婦取締を叫び、一夫一婦を叫びつゝあるのです、人間が人間らしく生きんが爲には、之等を排除しなければ、到底人間としての眞の生活が出來ないのです、斯かるものが潜伏しつゝある以上は、社會は不斷に罪の爭鬪が絶えないのです、貴姉は斯ういふ會に、會員として席を置く事は、個性を裏切る奴隷的態度であるといつて居られるが、私達は同胞を憐れむの已み難い情よりして、個性に順應して進路を取りつゝある團體なのです、あなたは「婦人矯風會以下のあらゆる團體は雷同と輕躁の產物である」と、極論してゐられるが、私は之を見て疑つたのです、もしや文勢の誇張のあまり斯くは潜越なる斷定に出でたのではあるまいかと、貴姉は、しきりに新思想とか、新生活の準備とかと、抽象的の言辭をのみ多く弄してゐられるけれど、其の新生活の準備として、どれだけの具體案を持し、どれだけ實行に着手してゐられるのでせうか、只徒らに書齋より大聲叱呼するのみではあなたの所謂、新生活も改造も行はれないのです、私達は徒らに新らしいといふ樣な文字は擔ぎ廻らない、併し主義に對する獨創的の方案を以て着々と其歩を進めつゝあるのです、私達は已むに已まれぬ熱情を以て、單に聲のみに非ず實現を期して自重しつゝ進みつゝあるのです、書齋より徒らに叫ぶ空しき聲に、わけもわからず盲從し屈從したら、或は輕躁であり、雷同であるかも知れません、併し私達は、受動的に非ずして自發的に主義貫徹を期待して進むものです、私達は飽く迄も、社會を毒する惡魔を驅除する事に、全靈全心を傾倒するものです、矯風會は絶對に輕躁の產物に非ざる事を、茲にあなたと江湖諸彦の前に斷言して此稿を擱きます。

（一九一九、六・二三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英國エヂンバラ市より

祖國の姉妹へ

在英　ガントレット恒子

お別れしてからもう一ヶ月以上になります。其間に一萬哩以上の旅を續けて、四月十八日夕刻無事サオサンムトンに到着致しました。途中も事なく、此時迄は幸ひ廣瀨氏御夫婦が御一緒で隨分色々御世話樣になりました。

大會中は兎に角一度も面倒なく無事終り迄三人御一緒に居り、昨廿八日夜初めてお別れして、私はスコットランドへ會のため後援に參り渡瀨姉は戰地見物へと出掛られました。

實は鹿島丸に乘船以來毎日船醉の中にも委しい日記を書き、紐育に行つて一くぎりとして郵送の積りで原稿紙に幾十頁か書きましたけれ共、思はぬ災難のため紛失致し、心ならずも今日迄失禮致しました。餘事は後にして、矢島先生の事を申上ます。

皆樣の絕えざる御祈によつて兩太洋共に實に珍らしい航海でした。先生は一回も食事をお缺きになつた事なく、何の御障りなくて着英致しました。

□大會場の握手攻め

大會は實に立派なもので、會頭カーライル伯爵夫人司式の許に禮拜があり、澤山の說敎や演說がありました。私共は與へられた席に靜かに坐してゐましたが、式が終ると、ゴルドン女史始め數多の會員が握手を求められるので、先生の御手が痛みはせぬかと案じられる程でした。午後はロンドン市長の官邸でリセプションがありました。出席者は各自市長夫妻に握手の榮を得、茶菓の御馳走の後、又々二百人以上の人々が先生に握手と署名を求められました。夜は先生の御世話を淸ちやんに賴んで渡瀨さんと二人で、男子禁酒會のリセプションに出席、七十五歲の白髮童顏の老會長が挨拶をされ、司會はビショップがされました。貴婦人五六名の歡迎の辭、戰時に失明した盲人の美しい合唱、上手なレシテイション、獨吟等があつてから、外國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

からの代員の答辭がありましたが、思ひも寄らず私の名が二番目に呼ばれ、勇を奮つて五分程話しました。此が英國での英語演說の皮切でした。堂も破れんばかりの拍手を浴せられて頗る恐縮致しました。

翌十九日愈々大會が本當に始つて本部役員、特派員、各支部長、各課長は高壇に着席、吾が老會頭も四日間午前午後二回づゝ其席に居られ、只夜は餘りお疲れのため出席されませんでした。私はミス、ゴルドンの命令で先生の側に着席し、夜も先生の御代理を務め誠に光榮に存じました。

□日章旗壇上に輝く

矢島會頭の御出席は大に各國代員を勵し、皆樣競爭のやうに握手に來られ、時には接吻をされるので先生大閉口「ガントレットさん今日は又なめられましたよ」と申さるゝ事が度々でした。第一日の朝各國支部長が紹介されましたが、先生は最後に紹介され、其時の拍手は耳も裂けさうでした。御挨拶の後本部會頭に國旗を呈上しましたが、それはプラットフォームの後ろ、會場の正面に揭げられて異彩を放ちました。

大會は實に大成功にて、各國の代員數四百を算し、合衆國からは八十六名出席されました。代員を派遣した國々は、カナダ、英國、スコットランド、ウエールス、アイルランド、合衆國、オーストラリヤ、アイスランド、ニユージーランド、南アメリカ、南アフリカ、西アフリカ、デンマーク、スウキーデン、ベルジヤム、フインランド、支那、印度、ビルマ、日本等でした。さうして、大英國の各地から集つた婦人の會員の數は壹萬三千二百人でした。大きな〳〵會場（ウエストミンスターのセントラルホール）は毎回一杯でした。

各部、各支部の報告は五分間故、全速力にて中々皆大骨折。議長席には大抵晝は會頭カーライル伯夫人（七十八）が着席され、ミスゴルドンが側に控へて居られ、會頭の右手にはミス、スラックが今一人の書記と着席して記錄を取り乍ら萬事の世話をして居られましたが、ミススラックの精力には驚くの外ありませんでした。會場書記などは一人も無いのに前日の記錄は翌日立派に出來て朝

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讃され、一度も疲れた顔などされる事なく、私は日本人の精力の欠乏をほと／＼情けなく思ひました。

□Ｙの大集會

二日目の夜は青年部の集會で、さしもに大きな會場も滿場、立錐の地なく、百人程の女兒が皆白服で高壇の後ろの高席に並んで合唱團となり指揮者に隨つて幾度も唱ひました。中でも最も注意を引いたのは、二百五十人の女兒の各國を代表したパジエントでした。各國の服裝をして其國の禁酒の進步の程度を示したものでしたが、日本のは、先から知つてゐたら私共が仕度をしてあげたのにと殘念に思ひました。

ビルマ、支那、日本の代員が十五分間演說との事で、私は皆樣の依賴により、日本服で初めに日本語次に自己通譯で、重に守屋姉の事を話題にしたので大好評、特に守屋さんのやうな働人を青年部から出したと話した時には實に盛んな拍手でした。

大會中の注意事項は餘りありませんでしたが、開會中の議會へ代表者を送つて、會の意向を明にしたいとの說が盛んでしたので、出席中の勞働大臣マクネマラー夫人に御依賴してボナー、ロー氏に會見を求めましたが、不幸にして拒まれました、多忙のため時を見出すに困難との口實の下に。

□資金不足の爲に戰ふ

議事は別になく、多くは本部役員に依托する事になり、多くは各地からの愉快な報告と、痛切なアピールでした。世界矯風會の最大困難は資力の不足で、義務金の外に、各自應分の年寄附をして助ける事に決定し矢島先生は一日一錢として三圓五十錢、私は拾圓としておきました。

三日目の朝と四日目の夜とに、又日本の事業と特別禁酒運動との話をするやう、プログラムにあるので、話しました。廿三日（金）は會として終の日で、其日に先生の誕生祝會を繰上げて、萬國大會から銀製のコップに美事な花を入れたのを贈られ、英國矯風會から“Sisterhood of Nations”と題する畫の額面、青年部から大きなボケー、其他個人から花束、菓子、果物等を贈られました。當日は先生が謝辭を述べられま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した、又渡瀬夫人に謝辭を述べて頂き、清ちゃんに願つて、それ〳〵の方へお土産を呈上しておきました。

□日本の提出議題は委員附托

廿四日朝は萬國常置員會にて、此時、私共の提出して置いた請願の要點が朗讀されましたが、凡ては資金の問題故役員に全任する事になりました。終りに一同手をつないで Blest be the tie that binds を唱ひ、會の祝禱をして別れたのは一時半でした。

役員改撰の折にカーライル會頭は極力ミスゴルドンを會頭に推薦されましたが、矢張會頭レデーカーライル、副會頭ミスゴルドン、書記ミスラック、及びジョンソン夫人、會計マクドウエル夫人と決定しました。

同日午後、カーライル會頭の令孃レデー、シシャ、ロバート夫人の家にリセプションに招かれました。

其時夫人は、私にとて伯爵家（御實家）で特に造られた御子供樣方のための御本だとて、畫は凡てお祖父樣の筆になつたものに歌と譜が付いてゐる大きな本を下さいました。私には何より嬉しい記念でした。而して、"I am a critical woman but I enjoyed your addresses very much. I urge you to make use of your power of speech and your voice for our cause," と勵まして下さいました。此方は會頭の令孃として實に遜色なき立派な婦人であり、母君に似て雄辯な方です。よく母君を補佐され、青年部のために花の如く優雅な妹君オリヤ姫と御一緒に非常に盡力されました。

□會に繼ぐにまた會

日曜の禮拜には四人揃つて聖ポーロ寺院に參り莊嚴な禮拜音樂に充ちわたる宗教的空氣に天國を偲びました。私共の宿はキングス、カレイヂの寄宿舍で百五十人位の人々が一つの食堂で朝夕食事を共にしました。夕食は會が終へてからの事故十時です、食物は極粗末なので、英國が如何に儉約してゐるかゞ想像されまして同情に堪ませんでした。

月曜日には朝八時發で私はグラスゴーへまゐり、夜七時半に著くと直ぐ自動車の中で日本服に替へて手を洗ふ時間もなく、次々三つの集會へ運ばれて話をしました。宿はグラスゴー市西部會長グルヽレー夫人の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御宅で、暖いベッドにゆつくり休みました。火曜日は少し町を見物して夜は又集會、水曜日には今度は一人でエヂンバラへ參り、夜はカナダの最初の婦人代議士マキネー夫人と御一緒にミルカルダーといふ小さい工業村へ行つて（半時間程汽車に乗つて）小い〳〵集會に出ました。今夜はエヂンバラの公會堂で集り、明日も何かありませう。もう私も疲れ切つて、早く主人の家に歸つて祖母さんの側で靜養したくなりました。然し神様がお使ひ下さる事は感謝に堪へません。

渡瀨姉は今頃ペルシャムを御見物の事と思ひます。先生は濟ちやんとロンドンの永井様の御世話になつて居られる事と思ひます。旅中は先生に御不自由があつてはいけないと思つて、極度の儉約をしてゐます。

□愛兒を思ふて露富る

婦人參政權に就ての大會は六月十日ジエネバに開かれる事になりました。大會中に其方の英國委員に面會を求められ、私も出來るだけ我國を代表して出席致す筈と申しました處が、非常に喜ばれ、英國で五月中豫備運動があるから是非參加しろ、五月廿一日の英國大會へ出席して話をしろと申され大に閉口致して居ります。大橋姉に拜借の日本服が大働きをしてゐます。

自分の感想などはペルショーに落付いてから書きます。今から今夜の話を考へねばなりませんから。ベビちやんの寫眞が私の前に私を見て居ます。私の眼には時ならぬ寶石が輝いてゐます。私は一度も病氣をしませんが隨分瘦せました。然し丈夫ですから御安心下さい。

此は本當に一寸した報告ですが中々忙しくて筆とる暇がありませんのであしからず思召下さいませ。

四月廿九日午後一時半

□□廣告□□

□銀製徽章

一個四十錢

送料貳錢

旗色を明にすることは會員第一の義務です、優美高尚な此徽章を佩用されんことをおすゝめします。

矯風會本部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬國大會の一般

ユニオン シグナルより轉載

□世界各地より集る代員

「白きリボンの地球を遍く包圍する日まで」を理想とする二千五百人に餘る婦人矯風會代員及び來會者は英京ロンドンなる中央會堂に第十回萬國婦人矯風會大會の爲に集つた、五大陸はそれ〴〵代員を出して萬國よりの代員諸姉とかたい〳〵握手を交す事が出來た、書記の代員點呼は一つ一つ答へられた、サンゴの花咲し島より或は日の出づる國よりの代員もあつた、其の他遠き南米の地より合衆國よりカナダ、オーストラリヤ、ニユージーランド、ビルマ、アイルランド、スウエーデン、ノールウエー、フインランド、ベルジヤム、南アフリカよりの代員も見えて、非常に盛であつた。

此の會の幕を切る人は誰で有らう、四月十七日土曜、先づカーライル伯夫人司會の下に盛なる感話會が催された。伯夫人の感話の內容の大體は左の樣なものである。

□カーライル伯夫人の演說

代員の諸姉は此の會に列する爲には多大の犧牲を拂はれたに異ひない、或は貴き時間を或は財を、而して遠き國の方々はこれに加ふるに苦しい旅をせられたに異いない、私は何か御慰めの言葉も申上げ度いが其れは持つて居ないのである、むしろ諸姉が此處に來られたは甚だ幸福な事であると思ふ、其の理由は米國の如く既に禁酒國となつてゐる國或は今や禁酒國とならむとして居る强き諸國が其の故郷なる英國に歸り來つて母國を禁酒國とせんために努力する唯一の場合であるからである。

此の點に於て我々英國々民は姉妹國なる諸國よりの代員の援助を待ち望んで居るのである、と同時に又我々は我國を早晩禁酒國となし得ると云ふ信念の强い者

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である、而して我々は敵の敵、仇の仇たる飮酒と爭ひ酒類賣買禁止の鐘の都市を搖す起勇氣を以て爭ひを挑む覺悟である。諸姉の御來英は我々英國民に新らしき生命をあたへ勇氣を與へ喜ばしき時の近きを思はせるものである、而して最後に改造されし社會の中に互が互を喜ばむ時を憶ふのである。斯の如く愛する諸姉の御來訪は何れの點に於ても價値ある行爲である、而して

我等主にある民は、人種の別なく黑白の差なく神の力に愛に結ばれて社會改造の難事によく堪へ得るを信ずるのである。

社會改造は、なまやさしい事でないことは明確な事である、然し爲し得る事は信じ得るのである、社會は昨今餘りに政治に戰爭に心氣を用ひ過ぎて居つた、從つて內面は餘りに培養されて居らなかつた、今や我々は、キリストの靈と共にキリストの理想實行の爲に立たねばならない。

「地には平和人には惠」を理想として立つ我々は先づ第一に我等の團結をかたくして事に當らねばならない、而して此の團結は太平洋の波も力強き太西洋の水も割くことの出來ないものである。

話を終られた伯夫人の面には感餘るものがあつた。

それより代員諸姉の簡單なる挨拶或は特に其の支部の爲に祈られたき事項報告などあつた。

明けて十八日日曜日は我が矯風會にとつて記念すべき日となつた。

◎ウエストミンスター寺院の代員席

大會の開かるゝ前の日曜日此の日は矯風會の關係ある諸國民の忘るべからざる日となつた！　其は英國々敎崇拜牧師或は非國敎牧師の別なく、幾多の寺院敎會の壇より、矯風—禁酒問題の說かれた事である、中最も胸を打たれたるは同夜六時半より開かれし、ウエストミンスター寺院の夕の集りである、四百に餘る席は代員諸姉の爲に設けられてあつた、此れは言ふまでもなく長老の親切にまつものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世に在りし時は名聲を博せし故人と共に此の歴史に富める御堂――なつかしくも、英人の崇拜の的なる此の御堂にて英國國教のクロイドン監督によつて禁酒を叫ばれたは感餘つて涙さへ催されるのであつた。

内容は「余をして此の壇に立たしめて禁酒宣傳を言はしむるのも百に餘る代員諸姉のはるばる來會されし事に負ふ處がある、國民の仇なる仇飮酒、これを亡ぼさん爲に立たれる諸姉は、先づ神によつて一つになると云ふ事である、而して諸姉をして斯の如く熱心に財も時も惜しまず來會させしは、又飮酒者自身發する聲なき聲、憐れなる聲、うつたへの情、苦痛の叫からである、目下十回大會の爲の來會者は其の淸き叫びの共鳴を世界の民に求めてゐる、然して酒より起る害より同胞を自由ならしめる爲に努力して居られるのである、此の努力を見る誰の心にも感餘らざるはなく改造の近きを知らざる者もない、斯の如き會こそ神によりて産れ出でたるを知らざる者はない、誰有つて此の美しき目的を非難し酷評する者が有らう。

されば諸姉、諸姉が使命のある處にかたく立たれよ、前進されよ此の團結により勇を增し新生命を得られよ、然してエスの所有者にして能はざる處なき事を憶はれよ、耐へ難き迄の苦痛も忍び無智なる罵倒も赦されよ、此れエスに由りてのみ爲し得るのである。

諸姉が强く立たれゝば立たるゝ程禁酒の必要其の爲の要求も認めらるゝ事が有らう、然し神の業なる此の矯風事業は諸姉の勝ち得ざる仇なく敵なく苦痛なく誤解なき事を信じて疑はない」以上。

會はコウアイヤーの讃美にて終る、其れより代員諸姉はクロイドン監督夫妻に紹介さるゝの榮を得た。

特にゴルドン女史は同夫人と長時の談話を交はされた結果夫人の胸には白きリボンの輝くを見ることさへ出來た、其の他ロンドン市の教會の壇より禁酒が此の日說かれた。

□殿なる追悼會

つぐ日の朝は先年米國にて開かれし大會以後七年間中に早くも御國に歸られし忠實なる神の僕！矯風會役

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

員の永眠を悼みて追悼會を催した。

午後は自己紹介の爲に用ひらるゝ中にウエストミンスター寺院の監督の下に居らるゝジョーウエット氏を特に此處に紹介する必要がある、同博士は常に矯風禁酒の友である、先年禁酒研究の爲米國に渡られ某致會を牧されし事がある縁から特に米國の代員に、再會の時を喜ばれた樣に見えた、博士も禁酒の必要を懇に說かれて代員諸姉の勇氣奮鬪心を鼓舞された。

□矢島楫子女史演說

つぐ火曜日は禁酒國とすでになりし國々よりの代員の禁酒に對する運動の如何、其の方法及び米國より派遣されし矯風會役員の印度アフリカ其の他の運動に就きての報告があつた、此の會にてはガントレット夫人の通譯にて矢島會頭も話された。

木曜日には役員選擧があつた、會頭カーライル夫人副會頭ゴルドン女史、英人なるアグネススラーク、ジヨンスン夫人は名譽書記に、マクドウエル夫人は會計に選擧せらる、其れより禁酒に就きての演說會。

午後は青年部の集りがあつた、此れはカーライル伯夫人の令孃シーリヤ夫人會長席に而して副會長に英國青年部會頭がつかる、此れも盛會を極めた。

最後の日は夕五時より七時までロンドン市長の代員招待であつた、夜はホーズレー夫人バツター夫人などの代員諸姉の來英につきての感謝の話があつた。

□□基金募集大音樂會□□

十萬圓也！ と目標を定めて基本金募集に掛かりました、各自會員は此目標を睨んで熱心に盡力して居ます、世界的音樂家山田耕作氏は青年部長ガントレット恒子姉の令弟です、令姉が基本金募集に苦心さるゝを見て、自分も喜んで後援しませう、外に其途はないが音樂會になら出演しませう、と申されました、第一回として旭川（七日十日十一日）札幌支部（七、八日九日）と交渉がまとまり、七月六日山田氏は東京を出發されました、山田氏の御厚志と、主催支部の熱心とは必ず盛を見ること信じて居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

北陸轉戰の旅

大阪支部長　林　歌子

大正九年六月十九日

昨日印刷所にての御手紙拝見いたし、毎日祈つて居ります、矢島會頭の御消息を承り、實に感謝に堪へません。

思へば六月四日上野精養軒にて御別れ致し、自動車にて東京朝日の婦人記者、竹中繁子姉に送られて、社會大會の皆様が食卓に就き給ひし頃に、私は車中の人となり、御約束の通り廓清の伊藤秀吉氏御出で被下て一二分御話を致して、汽車は進行を始めました、社會大會を中途に辭しました事は殘念に存じましたるも、同主義の方が澤山に居られ、且また社會大會が、今回の樣に集會も多く多方面の人々を一堂に集めて、眞劍になつて大切なる問題を研究致す事は、實に豫想に超えたる惠にて、これからも待兼ねて必ず出席致さねばならぬ、二日間出席致した事は有益でありましたと、考ふるうちに、いつしか眠に入り、目覺むれば新潟の天地、外を眺むれば、早苗とる景色に、大阪等よりは半月餘りも早しと先づ氣候の相違、肌冷しき樣に感じました。

□新潟の二日間

朝八時過に新潟停車場へ着しましたら、長田牧師並に夫人、村田牧師宮森夫人等に迎へられて、長田牧師の家に導かれ、同牧師の家は新潟目貫きの位置、縣廳前に角屋敷一角を占めて旅館の跡を教會新築のために買受けられ、旅館であつた建物は今ありませんが、離れてあつた一部屋敷は、同夫人の手にて日用の野菜草花等植ゑられ、同牧師の赴任されて六年間の著しき、神の惠、教會の發展驚く斗りにて、六日の日曜の如き、教會の出席八十名、數里の遠方より、草鞋がけにて來らるゝあり、且また今も、道に志して洗禮を受くるといふ事は、親兄弟、親戚等の迫害甚しく、六日の日曜にも、家族に妨げられて、洗禮を受けに教會の出席が、どうしても出來なんだといふ熱心なる妙齢の婦人に面會致しました。

□聖友女學校

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六年間の著しき傳道の成功中に、最も驚きましたは、女學校の設立でありました、新潟第一の高燥なる位置に居を占め、元宣教師の住宅の跡にて、大きな邸宅、自然理想の女學校に備へられた樣な場所に、三十餘名、定員の生徒方が靜に學び居られ、大正八年四月の創立にて、勞働神聖主義を基礎として起ち、信念を以て指導の光明となし、實際に世間の模範となるやうな優良な女子の養成に努めたいとの希望にて、之に活ける模範たる教師が與へられて、東京女子高等師範學校卒業の山田きよの女史は全く献身して來られ、女子英學塾出身の先生と共に、學校内に止宿せられ、何から何まで行屆き掃き潔まられ學校の小使にどこに居りますかと尋ねましたら、山田女史莞爾と笑みて、小使は私共であります、掃除萬端盡く生徒が致しますと、答へられて實にうれしく感じました、其他の先生方が皆特志にて夫々學科を擔任され、美しき奉仕の結晶が、女學校を造りある事と思ひ、學校の前途を祝し、献身の如何に大なる惠を齎らすものなるかをつくづく感じました。

□新潟支部誕生

新潟にて集會を持ちました事三回、婦人會は、日本基督教會に、聖公會と組合教會に一回宛、最後の集會に於て、矯風會員を募りました、即座に十七名の入會者がありました

尙日曜日に木村清松氏並に御令弟岩村氏の生れ給ひし五泉に參り、尙自動車にて程近き村松町へ行きて盛なる、傳道の有樣を見て、彼の東京池袋の神學校崩れて、非命の最後を遂げ給ひし神學生加藤氏が一夏働かれ、今日は其記念の集會を營まるゝ豫定の處へ行き、牧師木俣氏其他熱心なる青年、澤山の子供達に別れを告げて、新潟支部よ根を下せと祈りつゝ七日の朝出立致しました。

□富山支部

昨年七月、守屋東姉の來られし時に、始めて誕生なしたる支部にて、まだ一年に足らざる成長と致しては驚く程健全にて、書記櫛田夫人より切に私の參る樣にと促され、丁度同時に金澤より招かれましたので、思立ちたる今回の旅行、富山支部の準備は、八日午後三時半より、縣會議

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事堂に於て、公會演說會を開き、白石夫人の司會にて開會、集會は廣き堂に滿ちて、集會後に胸に白きリボンを着用せられたる・同主義の姉妹達と膝を交へて共に語り、熱心に同支部の爲に祈り、同日集會前に縣立高等女學校へ參りて、八百四十人の生徒に向つて、今後の婦人の責任に就きて話しました。

「親知らず子知らずの嶮」

昔しは親子さへ相顧みる暇なく、生命がけにて越ましたといふ、嶮路も今や、安全なる汽車の中、親子兄弟團欒して、樂々と超過する文明の賜を感謝せずには居れませせなんだ。

口金澤支部

百萬石の城下、何となう上品な心地が致します、金澤支部の歷史は舊く、ウエスト孃が、明治廿六年、日本に來られ、各地にて善戰、遂に金澤より昇天され、白きリボンの結びを・日米兩國間に尙もかたくなし給ひし、矯風會の忘れ難き歷史の土地、今回の金澤支部の準備は、二日間私はあらん限りの、血と汗とを獻げました。先づ九日午後の婦人會に、十日午後一時半より會員の親睦會、三時より、美以敎會に於て、青年部の集會は、澤山の集會の北陸女學校は其日は、運動會の豫定をのべて、校長先生と共に來られ、三百人程の元氣に滿ちたる青年部の集會に私には云ひ知らぬうれしさ。準備よき司會者は、直に新入會員を募られて、三十五人が倍加七十人に達せしとて喜ばれました。

「酒の投賣、一升七十錢　また他の店にては酒一升に景品として米一升、而も其店が十四番矯風會事務所の隣、酒よ酒よ爾の運命も、今に投賣されずは、我々の愛する國は危し、立て立て主義の友、强かれ健全なれと祈りました。」

口金澤ヨハネ敎會

金澤ヨハネ敎會員にて、篤信の譽れあり、且矯風會員たられました、小嶋夫人が昨年昇天されました、其一週年の記念に、敎會は傳道說敎會を催し、敎會が手狹なればとて、九日夜、商品陳列場に於て、說敎會を催され、佐々木牧師と共に、其尊き使命に用ひ給ひし事と感謝致しました。

尙十日の夜は、金澤に於ける最後の戰として、市會議事堂に於て、公娼全廢を叫びました。聽衆堂に溢れました。

口福井支部誕生

福井は私には殊に關係深き土地、支部の設立のためには、絕えず祈りましたが、十一日午後、日本基督敎會に於て話し・支部設立に足るの會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

員を與へられ、白きリボンの福井の天地に結ばるゝ事、如何に嬉しき、八木牧師、山田壽雄夫人等ありて、福井支部よ健全なれと祈りつゝ。
福井市長山品氏と共に明治十三年七月(思へば滿四十年の昔)卒業なしたる母校女子師範學校を訪ひて、親切に教へ導き給ひたる志賀有作先生の御寫眞、其他、明治十一年、明治天皇の北陸御巡行の際に作りたる、昭憲皇太后の十二徳の御歌を刺繍なしたるものなどを見て感慨無量、生徒に一場の話をなして立還りました。

□大野町

十二日の夜は、福井より數里を隔つる市波村へ行きて、親戚の家に一泊なし、翌十三日後車にて、大野町へ向ひました、元小さき城下にて、人情質樸なる町今は羽二重の機業盛になりました、中學校あり、手藝女學校あり、小學校は模範學校と昔より呼ばれ、私も此の學校に於て「いろは」を習ひまた師範學校を卒へし後、明治十八年に上京致せしまで、滿五年半教鞭を執りし學校にて、十三日は大野郡の教育會を開き、有終小學校に於て、禪宗永平寺の大禪師日置管長(七十四才)は、教育會に於て一場の講話をせられ、其跡に立ちて、私も所感を述べ、夜は大野町に於ける只一の基督教講義所、旭幼稚園に於て、集まり來られし親戚故舊の人々なつかしき鄕里の人々に向つて、何故に基督教を信じますかにつきて、實驗談を致し、方々より招かれましたが、遂に教會に一泊致し、翌四日朝、布川町長、村山牧師等に送られて、村山牧師夫人を只一人、白きリボンの同主義者に得て、眞に故鄕の淸く榮ゆる事を祈りつゝ、電車にて福井を經て敦賀へ向ひました。

□敦賀町

敦賀は北陸咽喉の地、浦鹽へ行くに、西比利亞鐵道經由に、皆敦賀より大切なる處なれば、何となく氣風が活潑に見え、大阪朝日新聞の後援になりし婦人會の如きも、已に二回催され、今回も是非立寄れとの電報往復にて、十四日十二時に、大野町より着すれば、敦賀婦人會幹事、寺澤姉、島姉、舊友持川姉に迎へられて、午後二時より、學校に於て講話、夜は教會に於て、夜十一時發、十五日朝大阪へかへり。
大阪を出でゝ十二日間の行程を、考へますならば、活劇と見られし樣に感じ、大野町にて、父の墓に詣でし時など、感慨無量、只々難有、勿體ないと、感謝に滿ちて終始なしたる旅行、拙き筆に記しました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

都會の裏

宮川靜枝

「御宿泊所、御一人前卅錢」と認めた四角い軒燈を出してある格子戸二階建の木賃宿が卅軒程も兩側に立ち續く生氣のない晝下りのM町の空氣は、貧しい人々の疲れ切つた寐息のやうに力なく陰氣であつた。溝泥のやうに黑い土を踏みながら行くと、種油の揚物や煮出しの嫌な臭が、たゞさへ沈滯し切つた貧しい町の空氣を一層重苦しいものにしてゐる。そこらの薄暗い窓の中から物憂げに眺めてゐるぎよろんとした人々の眼に幾度か行き場を失つた私の視線は、只二三尺離れた前方をわけもなく見つめて鈍い唸るやうな哀れな話聲をきゝながら急いだ。梅雨期の日光は濕つぽい地面から鉛色に反射してぎら／＼してゐる。

　とある露路を入ると一間やつとあるかなしの、溝とも思はるゝやうなじめ／＼した路を狹んで、二疊敷や三疊敷の人間の巢が兩側にぎつしりと立ち續いてゐる。一つの長い棟を、縱に眞二つに壁で仕切り、それを又幾つにも幾つにも小さく軒を並べて仕切つてある。さうして其邊に人間が密集してゐるのであつた。それらの小さい巢には五人や六人住んでゐる所が多い。通つて見ると、稼ぎに出て、戶の閉つてゐる家も可なりある。かと思ふと、働き盛りの丈夫さうな男が家（一つの小さい部室、それがあの人達の家なのです）一ぱいになつて晝寢をしてゐたり、眞鍮の指輪をはめたお內儀さん達が二三人集つて取りとめもないお喋舌りをしてゐたり、さうかと思ふと、穴倉のやうな家の上り口にペッちやりと坐つた足の立たない女が、一心不亂に赤い鼻緒の內職をしてゐる。どの家の前にもむさくるしい汚れ物が干してあつて、其所らの下では二本棒を垂したいたづらつこが六七人集つて遊んでゐる。此家の入口で車屋の亭主が汚れた被衣を洗つたり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

恐ろしく發達した毛脛を頑丈な兩手で洗つてゐるかと思ふと、其直隣の入口では、五十格好の中婆さんが盥を出して、悠々と落付き拂つて行水を使つてゐる。通る私等の方が遠慮して行かなければならない。

人生の敗殘者、人の世を忍ぶ落ぶれ人、「食氣と色氣」の外には何も知らないのらくらなやくざ男、彼等は塵や埃が堆高く投げ出されるやうに、都會の片隅に寄り集つて來た人々なのだ。雨が降つてはぱつたり仕事に出られないあの人達は、金のある時には眞白くチカチカ光る御飯や鮪の刺身に其日のありつたけの快樂を貪る。今日の樂しみは今日盡してしまふといふのがあの人達の世渡りだらう。何のための生か、何のための自分か、そんな事は愚にもつかぬたわけ者の暇潰しに考へる事なので、生れてきたから生きてゐる、只それだけである。食べたいから稼ぐ、それだけの事だ。運命の神も此界隈では、一向に存在を認められないやうにさへ思はれた。

あの人達には宗敎はない。精神に希望がなく、肉體と營養の平均しない勞働のために、又資本家制度の犧牲になる弱者の地位に立つてゐるために、彼等には私共の云ふ宗敎は、丸で、何の係りもないのである。彼等の生活は美しい宗敎的昂奮で彩られるやうな事は決してあり得ない。宗敎があの人達の趣味の一つになる事は、どう考へても覺束ない事であり、又其が生活其ものゝ根底となり得やうとは信じられない。

百五六十軒も人間の巢が密集してゐる此迷路を脱けて人通りに出ると私はほつとした。今度は別な反對の側から戸別を訪問をする事にして、横町に入ると、彼方から瞳の澄んだ、おかつぱさんにした可愛らしい女の兒と、十二三の、丸で玉蜀黍の髭のやうに赤い髮を固く結んだ女の子が來た。餘りあどけなくて可愛いので、ついにつこりした眼差を向けると、まん丸い顔に含羞んだやうな嬉しくて堪らないやうな顔をする。眞珠のやうな小さい齒の間から小さい舌を心持ち出して私の顔を見上げながら、自分の脊よりも高いやうなバケツを引づるやうに持つて行くので、「あら、えらいの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ね」と言つてほめると、なほ／＼恥しさうな嬉しさうな顔を傾げながら、振り向き／＼行くのであつた。河所に行くのかと見てゐると、共同用の水道に水を汲みに行つたのだつた。狭いぢく／＼した露路を曲つて曲つて曲つた其奥から水を汲みに來たのだつた。

「御免下さい、お變りありませんか」と言つて私達が立つた家は、今にも崩れさうに歪んだ家の一つだつた。間口一間に奥行二間の小さい家に親子五人が住んでゐる。ありとありだけの着物は皆壁にぢとりと吊り下げられて、入口にはさゝやかな世帶道具がわづか計り置いてある中に、古い置時計の針が三時十五分を指してゐる。棚の片隅には龜屋あたりの棚に並んでゐるやうな舶來のウヰスキーの瓶が置いてある。――私の視線はいつの間にか其瓶の上に濺がれてゐた。

「隨分お暑くなりましたね」と言ふと、四十位の鼻の壞れた痘痕面のお内儀さんが、愛想よく「ほんとにお暑う御座いますことね、まあ／＼大變な所で御ざいますけれど、さ、どうぞおかけ下さいまし」と言ひながら、汚れた裕衣の胸をかき合せて居ずまいを直した。お内儀さんは、吸ひかけてゐた煙管も、煙草盆と一緒に横に押しやつて、物馴れた調子で、三人の子供等の事や、其家を根繼ぎするために近い内にどうしても立退かなければならないけれ共、「親爺さん」の仕事が遠くなつて困るし、第一三圓位の家賃では其所らに貸して呉れる人もない事や、一つ家を借りて三軒位で住まうかと思つてゐるといふ事などを、雄辯に話してきかせた。其時、近所で遊んでゐた男の子がいつの間にか物珍らしさうな顔をして、入口に立つてゐた私の袂の下からおつかさんの樣子を見てゐたが、ごそ／＼上つて行つたかと思ふと、貼つた新聞紙も茶色に煤けてしまつてゐる正面の壁に力一杯兩腕を伸しながら、嬉しげな顔をして立つてみたり、しやがんでみたりしてゐたが、今度は、其處に下つてゐる着物の中に隱れて、片つ方の眼だけをちよいとのぞかせては又極り惡るさうに着物の裾に斑だらけの顔を引込めてしまふ。私はあゝした場合、よく子供がするやうな愛くるしい樣子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を見て何とか對手になつてみたくなつて、片つ方の眼の覗くのを待ち構へて手招きすると出て來た。「いくつ」と尋ねると、左の手を出來るだけ高く差上げて五本の指をありつたけ擴げて見せた。さうして又彼方の壁にぴつたり脊中をすりつけながらにこ〳〵してゐた。私は其子の顔に、おつかさんの側にゐるといふ喜びと安心と、吾家の誇り、子供が感ずる「俺んとこだよ」といふ誇りを讀んだ。さうして私は「あゝ〳〵いゝ子いゝ子」と心の中で繰返へしてゐた。母親は「溝が深うござんすからどうも危くて仕樣がございません。あの通り顔は疵だらけなんでございますよ……」と慈しみ深い眼差を子供に向けるのであつた。

お母さんの温い懐ろには、金のお城や、王樣よりもずつといゝものがある。お隣りの時ちやんに打たれた口惜し涙も、お母さんの懐の中に顔を埋むればいつの間にか消えてしまふ。恐いお化けの爪の長い手も、お母さんの懐にしがみついてさへゐれば、坊やの可愛い足を掴むやうな事もない。

人はどんな老人にならうとも、又どのやうな罪人に墮落しやうとも、決して母のなつかしさを忘れるものではない。人生の最も危い「殺那」の絶壁に立つて、目も眩まん計りになつてゐる時、靜かに後から抱き止めてくれる優しい手は、母に關する幼く懐しい憶ひ出の一片ではないかしら。いくつになつても母といふものはなつかしいものではないかしら。

私は「我家の誇りを持ち、母の愛を所有してゐるといふ無邪氣な欣びとほこらしさを身一ぱいに感じてゐる、疵だらけの顔をした子供を見た時、何とも言へない美しさを覺えた。貧乏が何か、倒れかゝつた破れ家が何か、少し位の智識が何か。それらの物の凡てを忘れて、意識しないで愛し愛さるゝ母と子の眞情は何よりも尊い、美しい。狹く、薄暗い破れ家であつても、其處には一家五人が中よく眠る靜かに平和な夜や、充分な眠りから覺めて一家の者を養ふべく都會のどよめきの中に潔く乘り込んで行く父親の後姿を見送りながら、父親が横町を曲らうとするのを待つてゐて、子供

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か「とうちやん」と聲高く呼べば、父も振り返りざま「おい、あばよ」と言つて一寸笑顔を見せて出かけて行く朝の、家庭らしい場面が展開されて行くのである。私は、ホームもなく、親といふものゝ愛しみも知らない沈み勝ちな自分の姿を見て涙のにじみ出るやうな哀愁を覺えてゾつとした。AはBを倒さうと爭ひ、BはAを如何すれば最も勞力なく、自分を苦しめる事なくして蹴落す事が出來るかと互に睨み合つてゐるやうな爭闘の社會に、一日汗と塵にまみれて働き盡しても、人々は自ら歩みをホームに向けていそ〱として歸つて行くのである。ホームのない子供、ホームといふ美しい背景を持たない人格には、何處かに暗い寂莫があた。人は神と交る前に、まづ人間として愛しみの生活をしなければならない。

其隣りの家では世帯を持つてから未だいくらにもならないといふ若いお内儀さんが、默つて、前鼻緒を造つてゐて、其側には赤ん坊が俯向きに寢かされたまゝ默つて小さい手をもぢや〱動かしてゐた。私達と色々話をしながら、お内儀さんは、嬉しさうに赤い齦を露して絶えず子供の方に目を配りながら質朴な人の笑顔を絶たなかつた。「お蔭樣でお乳は澤山ございます」と言ひながら兩手に抱き上げた赤ん坊は、よく肥つてゐた、けれ共赤味が無かつた。さうして餘りおとなし過ぎるとさへ思はれるのであつた。

其次に行つた家は六十になる白髪の品のいゝ老人と未だ四十二三の妻との二人暮らしだつた。それから幾軒も訪ねて行くうちにお婆さんが二人ゐる家があつた。一人は病氣だと言つて寢んでゐて、一人はきちんと着物を著て側に坐つてゐた。其人は、「いつ診察て頂けるやうになりませうか」とたづねて涙を拭つてゐた。いづれ早くしたいのですけれ共、何でもお金の問題ですからといふ事を聞いて、默つて頷いた。其人の瞼は赤く腫れあがつてゐた。

其邊は、善人の上にも惡人の上にも一樣に照る公平な太陽の光すら近寄る術のない程に家が建て込んでゐた。「おやこんな所にも」と思はるゝやうな行きつまつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た所にも力なく見すえる人の眼が動いてゐた。

　少し行くと五六人遊んでゐた子供等の一人が私達三人を見て「救世軍が來たよ」と言つた。私は思はず笑つてしまつた。すると子供等は「違つたのかしら」といふやうな顔をして不思議さうな視線を送つた。あの邊の子供達にはあの邊を訪ねて來る見慣れぬ人々は救世軍だと思つてゐるらしい。あの邊に家を借りて日用品や食料の店を出して働いて居られた「救世軍の旦那」は去年他の方面に移られたのであつた。

　子供等の中に、さつき道で出遇つた、おかつぱさんと赤毛の女の子も交つて、まゝ事をしてゐるのであつた。赤毛の女の子は上り口に腰かけて、兩脚をぶらぶらさせながら細い革紐の束を指さして、「あれなの、やつぱり鼻緒になるのよ、お父さんはあれの工場に行つてるの」とはき〳〵した調子で言ふ。其子は十三ある。小さい時に母親を失つた彼女と一人の弟と父親とは三人きりで歯の缺けたやうな生活をしつゞけて來たのである。母親に代つて留守番をしたり、炊事をしたりしてゐる其子の顔には、どことなく大人氣な所が見えた。

　其隣では、しどけない浴衣に繻珍に黒繻子を腹合せにした帶をだらりとさげたお内儀さんが、ひよこ〳〵中から出て來て、あたふたと其邊を掃き始めてゐた。

　暫らく後に、私達はおかつぱさんの家に居た。其子は千代ちやんといつて五つになるそれは利發らしい可愛い子供で、姉妹三人である。母親は晒の襦袢一つを著て俯向き勝ちに話をしつゞけてゐた、其間、千代ちやんはお母さんの後に隱れたり、坐つたり立つたりして嬉しさうににこ〳〵してゐた。ふと入口の名札を見ると、勳八等某と認めてあつた。

　其隣りでは開け放した入口の明るい處で、片眼のお内儀さんが只もう一心に前鼻緒の内職をしてゐた。前鼻緒百組で漸く拾錢位の賃金が手に入る。而も手早い人で一日にその位は出來るらしい。其お内儀さんは話す間もせつせと造つては歯で糸を切りながら、此頃はお米が安くなつて仕事がないので、ほんとにつまらな

いとか、「お信心も何もあつたものぢやございませんですよ、どうも貧乏隙なしでね」と投げ出したやうに言つたりした。彼女の膝許には顔の蒼白い兩眼の潰れて白くなつた女の子が顔を俯伏せにしてゐた。お内儀さんは「何でも、生れてから幾日經つても臍の口が塞がらないんでね、丁度品川にゐた時分でしたよ、神樣のお水を頂いてきてつけるやら何かしてゐると口が塞がつたんですがね、さうすると今度は頭一杯に腫物が出來たんですよ、さうしてそれがまあどうやら治つたと思ふと一晩の中に眼が潰れちまつたんですよ、私もね不憫でさ、方々の神樣に願かけをしたりお醫者にも診て貰つたんだが駄目なんです、で、とうせ治らないもんならと思つて」と捨臺詞のやうに言ひ捨てた。其子は今年七つだけれど、未だお天道樣も知らなければ、物の色も知らない。外の子供達が面白さうに遊んでゐても、此子だけは默つて笑はない。その兩眼は何處を見るともなくたゞぐる／＼廻つてゐた。其子は狹い露路の濕つぽい空氣を吸つて生きてゐる。其手は如何に痩せてゐることよ。兩眼さへあればほんとうに整つたいゝ顔をしてゐるのにと堪らなく涙を催した。

其次の家には父親と一人娘のつゝましやかな家庭があつた。入口の流しには色々な植木鉢が澤山並べてあつて、上には土釜に雪の下が生々と生長してゐた。父親は温和な五十格好の人で話す間中眼をあげなかつた。さつきから入口に出ては物珍らしさうに見てゐた日本髮の娘は、丸で子供が嬉しさと恥しさに一杯になつて何處に手を置いていゝか分らない時のやうに、體を歪めたり兩手で赤くはれ上つた眼を捺つたり口許を拭いたりして、「家が出來たら私お手傳ひにまゐります、父つちやんが老人なもんで、眼さへよかつたらもつと孝行するんだけど」と言つた。年を尋ねると、「父つちやんいくつ」と父親に自分の年を尋ねた。父親は低い沈んだ聲で「もう廿歳になります。滿十九でございますが」と言つた。

私共は廿軒ばかり訪ねたので歸る事にした。歸らうとして、ふと曲らうとする時、私の眼に映じたのは、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さつきの盲目の娘だつた。其子は吾家の彼方側の壁に凭れて、蒼い頬をすりつけては何かを求めるやうに右手で壁を撫で廻してゐた。他の子供達の影はもうその邊には見えなかつた。私達が通りに出る迄、私の顔を見てはにつこり笑ひながらついて來てゐたのは、千代ちやんだつた。「千代ちやん、おばさんとこにつれてつてあげやうか」といふと「見てんだい、見てんだい」と言つてゐた。

お内儀さん達は煮物をしながら、「御苦勞様でございます。さよなら」と、物優しい聲で言つた。通りに出ると、木賃宿の前等には野菜店が出てゐて、夕暮近いざわめきの中には、あたふたと身裝構はず急ぎ足に通り行く人々の姿が入り亂れてゐた。

私は間もなく「皆が正直で、あけつ放しで、人がいゝ」と思ひながら、東橋を渡つてゐた。早く興望館が出來て、形に表れた事業に取りかゝる事が出來るやうにと私は祈つてゐた。子供達は興望館が出來て幼稚園に行く日を待つてゐる、母親は子供を預つて頂いて仕事に出られる日を待つてゐる。病人は、施療所がつい近くに出來るのをどのやうに喜ぶだらう。あの二人のお婆さん、二人は涙を流して待つてゐるのである。

興望館は本所の貧民窟に建築さるゝ建物で昨年五月以來西洋婦人矯風會東京支部の重要な仕事であります

今日迄に、深い同情と興味とを以て、寄附さるゝ方が多くありました。五千圓、千圓、等の巨額な寄附を始め無名の友として同情を表された人々の中に外國の方々のある事を感謝し尚、その大部分が、日本の方々である事を、私は心から喜ばずには居られません。社會事業に對する同情と興味の斯くも深いのを知つて誠に嬉しく存じました。既に寄附金は二萬餘圓集まつて居りますが未だ建築に取り掛る事が出來ませんので、その間は、買ひ入れた土地にある三四軒の家を用ひて、托兒、施療、幼稚園等を開始さるゝと聞いて居ります。吾國で、恐らく最初の試みである此のセットルメントウオークが、眞に、あの人々の生活に光を與へ生命の水を分ち得る事が出來て、基督の精神を形に表し、此を社會生活に活かして行く事が出來るやうに祈つて頂きたいと存じます。又此方面に特に興味を以つて御寄附下さる方があれば誠に幸であると存じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

舊都奈良支部の活動

奈良支部は三月廿七日始めて誕生し、支部長には奈良女高師教授長尾糸子姉定まりしのみにて、未だ他の役員定らず、而も會員協力して、六月十九日午後二時より尾花座にて公開婦人問題大講演會開催、長尾支部長司會、講師には原田助博士、(社會改造の第一義)西野貞子女史(生か死か)、加藤直士氏(新人の見たる婦人問題)の三氏を聘し、會場は滿員にて下足の數のみにても八百余、大盛會に候ひき。市長を始め、内務部長、警察部長、高師校長等來りて聴講され、終りて晩餐會をなし講師を主賓として佐川市長、白男川内務部長、并に夫人、市技警察部長、植山校長、木本源吉氏並に夫人等皆食卓につかれ、原田先生の祈禱を以て始め、和氣靄々實に奇跡のやうに驚き申候。

大阪毎日新聞の奈良通信員杉本鶴吉氏が信者にて非常に助けられたるが大なる力に候ひし。費用は百圓程要するとの事にて一人の會員が率先して三十圓寄附されしが大に力となり、會員だけにて殘額を都合せんとの大意氣込にて市長等を訪問されしに、應分の寄附を致さんと先方より申されし由にて、會員諸姉は大喜び、大滿足、私にも是非來れとの事、私も餘り嬉しくて參り候が、夢ならば醒めざるやうにと念じ申候、心中お察し下されたく候。

全體奈良は因循なる處にて、實に空前の出來事、誠に空前の要求、其聲を耳に致せば今や婦人矯風會の使命は、戰時に於ける愛國婦人會の如き觀有之候。

何れに參るも胸に白きリボンをつけたる會員諸姉が活動せられ、實に感謝の至りに存じ申候。

廿六日には奈良縣郡山に、廿八日には淡路の洲本へ參り申すべく候。

（林うた子姉通信の一節）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

本部

六月廿五日午後二時より靈南坂教會にて、婦人教役者會との聯合主催にて地久節讃美祝會を開く。此は最初の試みなりしが、各宗教女學校の贊成を得しため、東洋英和女學校、女子學院、フレンド女學校、靈南坂幼稚園等より美しき合唱獨唱等ありき。又大川女史は御病氣のため出席されざりしも、宮崎夫人並に岩村夫人は獨奏をされ、豊田夫人の美しきアルトの獨唱には一同恍惚として聞き入りぬ。五百餘の會衆の注意を引きたるは、少年禁酒軍のメタルを左の胸に懸したる東洋英和女學校少年禁酒軍の乙女達なりき。當日三谷民子女史の一場のお奬めありき。司會者として勞を執られし教育部長井深女史の御苦勞を謝し當日の美しく盛大なりし祝會のために感謝す。

富山支部

五月二十七日午後一時半より例會を開く。出席者二十一名禮拜の後甘粕姉の感話、前回記錄朗讀あり。報告中財務部左の報告をなせり。

一、横濱大會バザーに於て結局金三圓の不足を生ぜし事。

二、五月十二日開催の當支部バザーに於て寄附金を合せ金四十九圓二十三錢の收入ありし事。

林歌子姉より來る六月八日頃來富の申越ありたるに付講演會を開催すべく種々協議を遂ぐ。

引き續き午後三時より第二回女教員諸姉招待會を開く。出席者三十四名。聖歌合唱の後星姉の挨拶あり。次で瀬川淺郎氏の本會に對する熱心なる奬勵と國民教育の根本問題に就き極めて有益なる講話あり。終りて茶菓を喫しつゝ兒童教育につきて懇談をなし頌榮を合唱して六時散會す。本日新入會員一名。

六月七日大阪支部長林歌子姉を迎へ翌八日午後一時より高等女學校講堂に於て同校及び女子師範學校生徒八百名の爲に、同三時半より縣會議事堂に於て一般男女の爲に講演會を開く。後者にては聽衆約五百、兩度共多大の感動を與へ其結果を得たるは感謝に堪えず。

宮津支部

四月初めの頃、林歌子姉並に宮津の小林つる枝姉から御手紙が參りました。同地の姉妹方の間に矯風會設立の御希望ある事を知り、其後確かな御便りのあるのを待つてゐましたが、愈々五月十一日に支部の組織された御通知がありました。會員十四名、役員は左の諸姉が選擧されました。

支部長　小林つる枝　副支部長　倉部愛子
書記　牛窪操　會計　相原よしの

熊本青年部

五月廿日午後一時半より三年坂メソヂスト教會にて例會を開く。松本支部長御病氣のため後任者として東京の小石川青年部においでになりし堀内貞子姉を願ふ事に決す。堀内先生が今後會のため熱心に御盡力下さる事を思ひ一同深く感謝せり。本年に入りてより新入會員既に廿二名を迎へたり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

水戸支部

六月十九日前支部長ピンフォールド氏宅にて例年の如く親睦會を開く、三ヶ月間休會さする事なれば各自お菓子を持ち寄りさいふ打解けたる快き會なりき。此日尼港殉難者遺族慰問のため寄附金を募集せり。いづれ新聞社に托して其手續き方を依頼する事に決せり。

津支部

六月廿日例會を開き、一同大に市の爲めに盡さんさ互に勵まし、喜びて散會せり。

役員は左の諸姉に決せり。

支部長　杉上やを子　副支部長　飛内郁子
書　記　矢頭まさ子　會　計　池田政尾

新たに生れし當支部のため皆樣のお祈りを乞ふ。

四日市支部

六月廿五日愈々支部設立し、新に矯風會の一つの肢さなりて今後共に理想實現のために盡力さるゝ事になり、役員さしては、支部長永田有子、副支部長富山かる子、書記川島姉、會計山東夫人を選擧されました。當日の組織會にては富山夫人司會され、永田夫人が矯風會の主意に就て、モルガン女史が外國に於ける本會の働に就て話され、發會式は何れ秋東京及び大阪より名士を招聘して盛んに擧行さるゝ事に決しました。

京都支部

六月十四日市內數役者諸氏及び役員部長相集りて懇談會を催し、熱心なる牧師諸氏の御意見も承る事が出來ました。

廿五日には地久節祝會を兼れて母の會開催、海老名夫人の御講演を願ひました、來會者五十人。當支部も今後追々凡ての整理をなし活動致す考へで居ります。尙前原田支部長御辭職に相なり、新らたに支部長さして海老名みや子令夫人を迎へました。

丸龜支部

六月廿五日地久節に日本キリスト教會にて母の會開催、杉本姉司會、聖書朗讀祈禱に次で有益なる講話ありき。新選役員左の如し。支部長中澤すゞ子、副支部長杉本せつ子、會計靑木イク子、記錄書記山中ひさ子、通信書記大磯賴枝の諸姉。閉會後二月以來の新入會員九名の歡迎親睦會をなせり。

六月廿日、花の日を守り、支部長其他二三の姉妹は花を携へて砲兵十二聯隊の衛戍病院其他の市內の病院を訪ひて懇に慰問されたり。

大磯賴枝

廣告

少年禁酒軍徽章

一個　六錢

郵稅　二錢

御注文次第お送り致します

赤坂新町三ノ四六

婦人矯風會少年部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

twenty-third psalm, in order that she might commune in their own language with her American comrades.

Mrs. Gauntlett was much in demand as a speaker at the convention. Her command of the English language was remarkable, and her personality and pleasing platform delivery called forth unfailing applause. She has been filling engagements in England since the convention.

Frequent and fervent were the appeals of Miss Hardynia K. Norville for the "neglected continent" of South America. She told of the friendliness of the presidents of the republics of Uruguay and Argentine to temperance work, the wonderful opportunities she had been accorded, through their cordiality, to get into the schools, secure the co-operation of educational leaders, and through fiestas in the big theaters of the large cities, have the children present pictorially, in tableaus and song, the principles of temperance. She pleaded for help to establish the work and to extend it into other republic.

Miss Dagmar Prior, president of the Denmark W. C. T. U., was a most attractive representative, with a happy mingling of practical common sense, spirituality and a keen sense of humor. She told of the adrance being made in anti-alcohol legislation in her country, reminding us with pride that the King of Denmark was the first European monarch to sign a national prohibitory measure, that of Iceland. Out of a population of 3,000,000 in Copenhagen thereare 200,000 total abstainers. Recently an effort was made to abandon all licenses and permit the liquor trade to engage in the business without even that restriction. In eight days the women, led by Miss Prior, secured the signatures of 52,000 women voters against the measure. Miss Prior, to the amusement of her hearers, told how she would go patiently from house to house and get the names of the women very easily, and then would be followed by the husbands of these same women vehemently demanding that she strike out the signatures of their wives—which of course she did not do. The W. C. T. U., under Miss Prior, conducts several sailors' homes and has welcomed in them the boys of the British and American Navy and made for them a home-like and safe place to stay while on land.

Sweden sent a charming young woman Miss Cedarblad, who presented a thoughtful report of conditions in her country, and the work being done by the W. C. T. U. She dwelt at length upon the activity by which Sweden has distinguished itself, establishing temperance restaurants and cafes for workingmen and for the public, as a counter attraction to the dram shops, and the excellent work done through the homes for sailors and women and children.

Early in April

The mother of Miss Moriya National Superintendent of L. T. L. passed away after a comparatively short illness. She was a woman of earnest Christian faith, a member of Bancho Presbyterian church where the funeral service was held. Our sincere sympathy is extended to Miss Moriya.

Another of our esteemed national officers, Mrs. Kubushiro, has had to pass through deep sorrow. Her husband, the Rev. Mr. Kubushiro, after a long and brave fight, succumbed to that dread disease, tuberculosis, and passed away early in June. The funeral service was held in the new church recently erected through his efforts, for which he labored up to the last.

We extend our sincerest sympathy to Mrs. Kubushiro and her fatherless children in this their great loss.

E. A. Preston

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Annual Convention

The Annual Convention of the Foreign Auxiliary of the W. C. T. U. will be held in Karuizawa August 6 and 7. A good programme is arranged and large attendance is desired.

Notes of the World's W. C. T. U. Convention

The Press brings reports of a most successful world's W. C. T. U. Convention held in London in May and at which 8 delegates from the National W. C. T. U. of Japan were present.

The center of attention at every meeting of the World's W. C. T. U. convention was the presiding officer, the gracious, dignified World's W. C. T. U. President, Rosalind, the Countess of Carlisle, who presided with grace each day, however frequently calling Miss Anna A. Gordon to the Chair. Like a mother with a big family of children, Lady Carlisle conducted with firm but gentle hand the proceedings of the week's sessions patiently and yet with spirit, coaxing, expostulating, instucting, or dictating as the occasion demanded.

There were no more interesting moments during the week than those when Lady Carlisle, in virile, brilliant, convincing words, threw light upon troublesome problems. As a presiding officer and an extempore speaker on every possible phase of W. C. T. U. work and the temperance question, Lady Carlisle was a most unique feature of the convention and added much to the picturesqueness of the meeting. She was constantly the recipient of gifts from representatives of different countries—a beautiful basket of roses from the Scottish delegation, beautiful blossoms from South Africa, a chain of elaborate fashioning from the 60,000,000 teetotal women of India, a Burmese doll from Burma, and flags from Japan and Finland. In no one of these presents did she evince more interest and delight than the collection of souvenir spoons from the fifty-one state W. C. T. U. organizations of the United States.

The delegation from the Orient was naturally the most picturesque and most often photographed by the newspapers. It consisted of Madam Yajima, who celebrated her eighty-eighth birthday during the convention, the president of the Japan W. C. T. U.; Mrs. Gauntlett, the leader of our young people's work in the Sunrise kingdom; Miss Ukai, Madam Yajima's granddaughter, and Mrs. Watasa of the legislative department. On Madam Yajima's birthday she was presented with a silver mug filled with spring flowers—cherry blossoms—emblematic of Japan. She responded in an animated speech, interpreted by Mrs. Gauntlett. It was an impressive and sacred moment, when, at the suggestion of Miss Gordon, Madam Yajima, with a fervency that thrilled all hearts, led the convention in prayer in her own language. "There is but one language in prayer," said Miss Gordon, "and we can all unite with Madam Yajima as she lifts our hearts to our Heavenly Father." One recalls in this connection the visit of Madam Yajima to America on the occasion of the World's convention in Boston, and her committing to memory in English, on the long trip across the Pacific Ocean and the American continent, the

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝毎夕(但祭日及日曜日の他)
院長診察月木金午前及木午後六時
林峯間、岡本三副院長は當院に在勤

東京麴町區三番町三十番地(市ケ谷見附上)
電話九段{六二番 六六三番}

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱(從停車場約半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎日午後(但祭日及日曜の他)

◎募看護婦志願者及雜事婦

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ライオン煉歯磨
チューブ入

避暑にも
旅行にも

避暑先でも旅行先でも口中衛生の必要には變りはありませんのですから最も衛生的で携帯に便利なライオン煉歯磨チューブ入は有らゆる避暑家や旅行家に歡迎されてをります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA